



日刊動力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

※ 電話番号は4月29日から変更になります

92.6.8 No. 3605



質疑打ち切り動議が出された後、社会、共産両党委員らが委員長席(左端)に押しかけて抗議している間に、自民(中央上)、公明、民社三党委員の起立多数でPKO協力法案が可決された=5日午前3時41分

空前の暴挙 デッチあげ採決

六月五日、一八時、反戦共同行動委は、渋谷宮下公園において、PKO法案成立阻止に向けた緊急集会を開催した。集会は、同日未明の参院特別委における「採決」デッチあげに対する怒りの声でうずまった。

集会では、「本会議開催を阻止するために、デモ終了後、全員で国会へ行く」とたたきこみ、新たな方針が決定された。

部隊は八時半すぎには国会前に到着。三日目の徹夜闘争がはじまった。国会議員面会所前は次々とおしよせるデモ隊、すわり込み部隊数千名でうめられている。

反戦共同行動委が中心となったすわり込み部隊によって、社会党系全国実行委の集会が意気けんこうとうちめられた。

しかし、自・公・民は、何としてもPKO法案強行に向けて一〇時半、本会議を開催した。怒りの声・声・声……院外での闘いに動かされ、社会党も問責決議案、牛歩で抵抗、三日間にわたる徹夜の闘いがつづいた。

PKO法案強行 成立を許すな!

白衛隊員の
家族の「叫び」

隊員の妻(三四)「強行採決は納得できない。議員は決めてしまえばそれで済むかもしれないが……」

議員の父「親としては、法案に反対している政党に頑張ってもらいたい」(中日新聞六月五日)等々、PKOへの怒りは一気に高まっている。連日、参議院議員面会所前には、法案反対の人たちが埋め尽くされている。そして全国各地ですわり込み、ハンストが闘われている。こうした闘いを「六・一四」でひとつの力に転化しよう!

アジア(在日も)

民衆の弾劾に
応えよう!

五日付、東亜日報(「韓国」)

は「国是を破り軍靴の悪夢」と題して「日本はついに非軍事原則の足の鎖を切った。日本軍の海外への再上陸が現実化した……」と激しく弾劾している。

また、アジアの留学生は、「兵を出したいのが日本の本音」「日本(人)は何をしているのか!」「豊かな日本(人)には、自分さえ良ければ他はどうでもいいという気分がある」「(いずれも朝日・六月六日)と、われわれ労働者・人民の反対行動への決起を訴えているのである。

自衛隊(軍)の海外派兵法案・PKOをつぶすために一人ひとりが行動にたとう!

六・一四へ!
全支部から
総決起しよう!

全方ぞ6.14へ

PKO法案成立阻止、

6・14全国総決起集会!

日 時 1992年6月14日

(日)12時より

場 所 東京・明治公園

指定列車 千葉駅発10時59分

(9番線)快速列車最後部